

事業名：1. 事務処理市移行推進事業

委員氏名																				平均					
総合評価点		◎	85点	◎	77点	○	74点	◎	76点	◎	86点	◎	76点	◎	80点	○	63点	◎	75点	◎	79点	77.1			
評価		<p>せっかくの意見交換会であったが、参加人数の少なさが気になる。参加者が増加する方法の検討を要するのでは？ また、専門分野の色合いが濃い内容からか、積極的参加が見られない。</p> <p>説明会周知の方法として、該当する地区及び隣接する地区の自治会に回覧する方法も必要ではないかと思う。</p> <p>おおむね適切である。当該事業の趣旨として、今回の市民参加の手法を採られたことは理解できる。ただし、当該事業期間は2年あり、条例案の策定段階にも、市民参加の余地があったと思われる。たとえば、条例案策定審議会などの設置である。他市はともかく、本市は市民参加のまちを標榜しており、できるかぎり、市民参加を推進し、市民目線の政策形成を行い、その実施を行うことを目指してほしい。</p> <p>意見交換会については、市民が参加しやすいように土日に開催している割には、パブリックコメントが少なく感じる。説明会に参加する人数も開催場所、日時により変動が多い。多少工夫の余地があるのではないかと思う。</p> <p>市民参加を行った理由として市民の生活に直接かつ重大な影響を与える条例の制定または改定となっているので、意見交換会は認めるものの調整区域の住民の参加が少ないし、意見交換会の日程が義務的に割り振られているように思う。</p> <p>パブリックコメントの回数をもう少し増やすべき。市民活動を謳っているところに大きな意味があるので、今後の工夫を求め。</p> <p>事務処理市移行は一般には聞きなれない事業である。市街化調整と云う都市計画には重要な事業であるが一般市民には参加し難い課題であろうが、審議会の設置は何故しなかったのだろうか、その理由は？ 事業の概要・目的を詳しく読み取ると審議会設置の必要度が高まる。市民参加の観点からすると消極的と評価する。</p> <p>1. 当該事業は大事だが市民が広く関心を寄せる事業ではなく、行政の権限を中心としており、評価対象事業にすぎないと思う。 2. 当該施策の影響を受ける市民や業者はおり、地区説明会と追加説明会の計9回実施は評価できる。 3. パブリックコメント結果や説明会の議事録の公表では、議事録だけで資料の添付がないため、今回のような作業においては、情報公開コーナーの資料やホームページの資料だけでは評価できない問題があった。当該事業は重点事業なので、単独の編冊とし、経過ごとに各種資料全体が閲覧できると良い。 4. 情報公開コーナーにおける編冊が別など、わかりづらい面があった。</p> <p>市民に重要な市街化調整区域に関する条例の策定のための事業であり、積極的な説明会の開催等の取り組みは、評価できる。</p>																							
		評価項目	配点	実施状況		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント		
		実施した市民参加の数	15	H25.7 パブリックコメントの実施 H25.4 住民への説明会を開催(6回) H25.5-7 要望により説明会を開催(3回)	15		15		15		15		15		15		15		15		15		15		14.7
		選択した市民参加の手法	5		5		4		5		4		5		4		3		1		5		5		4.1
		意見の取り扱い・公開方法	5		5		3		5		4		3		3		3		2		3		4		3.6
市民参加の取り組み・積極性	5		4		5		4		3		5		3		3		1		4		5		3.7		
パブリックコメント(意見公募)募集	基準	1.H25.7.29～8.12 パブリックコメント募集(15日間)	基準	パブリックコメントが一人とは。	基準	提出者に対しての、直接返答はあったのか。	基準	当該事業は、市内においても、利害関係者も多数存在する。その中で、意見が1人のみであり、それが素案に反映できないものであったことは遺憾である。	基準	提供資料については、概要版がないため1点とした。	基準		基準	パブリックコメント募集に1人しか意見が出されていない。募集の仕方に工夫が必要。	基準		基準	1人しか意見が出なかった、と云う事は説明する側に意見を出し易い問題提起がなかったからではないか、説明者側に問題はなかったか。	基準	結果がホームページにあるとされていたが見つけられなかった。また、情報公開コーナーにあったパブリックコメント綴りとは別の単独ファイルで探しづらかった。	基準		基準		
	10	2.素案、目的・案内、意見書を提供 3.担当課窓口、市HP、各センター、情報公開コーナー、図書館で資料提供 郵便、FAX、メール、各センター回収箱、担当課窓口で受付	10		10		10		10		10		10		10		10		10		10		10.0		
	水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		
	10	4.H25.7.1 広報しろい、市HP、図書館、担当窓口 情報公開コーナー、各センターで周知 5.1人から4件の意見 H25.9.3 提出された意見に対する市の考え方を公表 市HP、情報公開コーナー、各センター 図書館、担当課窓口	10		9		8		9		9		9		9		8		8		10		9.1		
	合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		
20		20		20		19		18		19		19		20		18		18		20		19.1			
意見交換会の開催	基準	1.H25.4.13、4.14 意見交換会を開催(6回)計31名参加 土曜日曜に市役所及び各センターで実施 2.参加者へは資料を配布 3.参加者の制限はなし	基準		基準	説明会を行った会場には、その地域の人に共通する課題があると思うので、公表したほうが望ましい。また、この場合意見交換会というよりは、説明会であり、今さら意見を聞いても反映できるものではない。故に、その他の方法に入るのではないか。	基準	意見交換会なので、市の意見はある程度住民に公表されたはずである。でなければ、意見交換会ではなく、説明会と変わらない。「個別具体的」内容が多くて、一般的・抽象的な市の見解は示すことができない。「個別に対応した」ものが、概略はこのようものであった程度で記述は欲しい。	基準	結果公表・取扱いについては、情報公開コーナーのみであるが、他の方法も複数必要であると考え。(担当窓口等)	基準		基準	意見交換会を2日に渡り実施している点は評価できるが、日程が機械的に割り振られているように思う。6回の開催の割には参加者が少ない。	基準		基準	センターによっては1～4名と参加者が少ない。不動産業者等の利害関係者なのか一般市民なのかは分からないが、一般市民には意見交換会に直接参加するのは難しい課題かと思う。意見交換といえながら、意見を引き出す手法に市の問題はなかったか。	基準	会議録は情報公開コーナーのみで、容易にアクセスできるホームページにもないのは残念で、ぜひ載せて欲しい。また、本当に担当課窓口にもないのだろうか。議事録には、説明で使用・配布した資料を添付すべきであり、議事録だけでは内容を理解するのが困難。	基準	チラシ・ポスター等によるPRも必要なのではないか。複数の選択が必要ではないか。	基準		基準
	10		10		9		10		10		10		10		10		10		10		10		9.9		
	水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		
	10	4.H25.4.1 広報しろい、市HPで周知 5.会議録は逐語録を情報公開コーナーで公開 ※提出された意見は個別具体的な内容が多いため、市の考え方の公表はしていない。	10		6		9		9		8		7		9		7		9		8		8.6		
	合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		
20		20		16		18		19		20		18		20		17		19		18		18.5			
その他の方法	基準	1.H25.5.25、6.1、7.6(3回開催) 計43名参加 「市街化調整区域の土地利用方針と立地基準条例(案)」に関する説明会 2.H25.6.1 広報しろい、市HPで周知 3.説明会は公開で実施 4.結果の公表は行っていない ※当該説明会は意見を聴く場のものではないため。	基準	説明会の地区名が不明。	基準		基準	結果の公表がないため。	基準	他の項目では「事前周知の方法」が多くあるが「その他の市民参加」の「事前周知の方法」については、周知方法が2つのみである。パブリックコメント、意見交換会と同様の複数の周知方法と整合性をもつべきではないか。	基準		基準	地区からの要望に応じた説明会を行ったことは評価できるが、開催場所やどの説明が行われたのか市民が知ることはできないのは残念。	基準		基準	追加の説明会と考えられ、意見交換会の延長としても良く、別の手法とはカウントできないのではないのか。開催記録はなく、開催記録の内容は要点録というのどういう意味か。また、説明会といえ要点録は作成しているのに公表がつか所もなしというのはどうか。	基準	意見・質問の概要等を公表しても良いのではないのか。	基準		基準		
	6		6		4		4		4		6		6		5		4		4		4		4.9		
	水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		
	14		10		10		4		9		12		8		10		4		10		8		8.5		
	合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		
20		16		14		8		13		18		14		16		9		14		12		13.4			

事業名 : 2. 白井市地域防災計画素案策定事業

委員氏名		◎		○		○		◎		◎		◎		◎		○		○		◎		平均
総合評価点		84点		73点		63点		83点		80点		86点		80点		70点		73点		75点		76.7
評価	実施した市民参加の数	15	H26.2.3~2.18 パブリックコメントの実施 H26.1.18~2.5 意見交換会を開催(7回) H23.9~H24.3 市民による防災マップの作成	15		15		15		15		15		15		15		15		15		15.0
	選択した市民参加の手法	5		5		3		5		5		5		5		3		3		3		4.4
	意見の取り扱い・公開方法	5		5		3		3		5		4		4		3		2		2		3.7
	市民参加の取り組み・積極性	5		4		3		4		4		5		5		2		4		5		4.1
	評価項目	配点	実施状況		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
パブリックコメント(意見公募)募集	基準 10 水準 10 合計 20	1.H26.2.3~2.18 パブリックコメント(意見公募) 16日間 2.素案、概要を提供 3.担当窓口、市HP、情報公開コーナー 各センター図書館で資料提供 郵便、FAX、メール、各センター回収箱 図書館回収箱、担当窓口で受付 4.H26.2.1 広報しろい、市HP、各センター 情報公開コーナー、図書館、担当窓口で周知 5.2人から4件の意見 H26.6.30 市HPで提出された意見への考え方を公表	基準 10 水準 9 合計 19	意見が出されたのが2人とは！結果公表がホームページ1つとは少ないのでは。	基準 9 水準 8 合計 17	目的等の案内はつけた方がよい。担当窓口は把握しているべき。	基準 9 水準 9 合計 18	意見の公表がHPのみで行われているのは疑問である。インターネットなどできない方々に不利益とならない(デジタル・ディバイド)よう配慮してほしい。真の市民参加を推進するためには重要なことである。	基準 10 水準 9 合計 19	「結果公表」が情報コーナーに必要である。	基準 10 水準 8 合計 18	防災は市民にとっても大切なことなので、パブリックコメントの募集期間を十分にとったり事前周知に工夫が必要。	基準 9 水準 8 合計 17	防災活動は、市民に重要なものである。さらなる意見公募、告知などをすすめていくべき。	基準 10 水準 6 合計 16	パブリックコメント募集に広報しろいを活用して欲しい。意識の高い人は、市ホームページやセンターにも出向くが、一般市民は第一に広報しろいである。	基準 10 水準 8 合計 18	資料の概要は、どの程度の分量か。ホームページの資料は639頁あり、期間が短すぎる。 情報公開コーナーにはパブリックコメントの編冊があるものの、本件の掲載はなかったのはなぜ。 意見への考え方の公表まで4ヶ月以上かかるのは、理由はともあれ問題ではないか。	基準 10 水準 8 合計 18	「1」重要な施策であり、期限が不十分ではないか。「2」複数の選択が必要ではないか。	基準 10 水準 8 合計 18	17.9
意見交換会の開催	基準 10 水準 10 合計 20	1.H26.1.18~2.5 意見交換会を開催(7回) 計 149名参加 平日夜間、土日休日に各センターや自治会集会所で開催 2.参加者へは資料を配布 3.自治会長や自治会防災担当、地区社会福祉協議会及びそれら参加者の推薦のあった一般市民を対象 4.自治会、地区社会福祉協議会等へ直接周知 ※市民の参加希望者は自治会長等の推薦を通じ参加可能 5.会議録は要点録を情報公開コーナーで公開 提出された意見に対する回答は無し ※災害時対応マニュアルの基礎資料とするために意見を集めており、マニュアル作成の参考とするが個別の回答は行わないため。	基準 10 水準 10 合計 20	開催日を平日夜間、土日休日の設定は評価できる。事前周知の方法は、担当課でなく支援課であったということの意味か？	基準 10 水準 7 合計 17	限られた期間の中で、所管課は尽力されていることは伺えるが、本来であれば、もう少し開放系で事業を展開してほしいところである。趣旨は理解できるが、「回答無し」は、市民参加のまち・白井では、もう少し記述を考慮してほしい。	基準 10 水準 9 合計 19	「意見交換会」は公開であるが、「開催日の公表」については「無」のため、「事前周知の方法」については1点とした。	基準 10 水準 6 合計 16	基準 10 水準 10 合計 20	夜間や休日に意見交換会を行ったり、自治会長等に直接周知を行ったりと参加者に配慮があり、大変望ましい。	基準 10 水準 9 合計 19	基準 10 水準 10 合計 20	基準 10 水準 9 合計 19	一般にも知らせ、傍聴を認めても良かったのではないかと。結果については情報公開コーナーにあるとされているがなかった。	基準 10 水準 6 合計 16	「3」「4」団体関係者のみで、限定的ではないか。「5」意見の概要等は公表しても良いのではないか。	基準 10 水準 6 合計 16	9.7 水準 8.4 合計 18.1			
その他の方法	基準 6 水準 14 合計 20	1.H23.9.28~H24.3.17(16回実施、計245名参加) 地区別に防災マップを作成 平日夜間、土日休日に各センターや自治会集会所で開催 自治会長、民生委員、地区社会福祉協議会等を対象 2.対象者に直接周知 3.会議は非公開 ※自治会長、民生委員等を対象とした会議であり、一般市民は対象でないため。 4.会議録は要点録を担当課窓口で公開。また、参加者に会議録を送付し、参加自治会等を通じ市民に公開 提出された意見に対する回答はなし ※提出意見はハザードマップの基礎資料として活用し、個別の回答は行わないため。	基準 6 水準 9 合計 16	一般市民を対象に実施できなかったのか。地域ごとの話なので、意識ある人たちが巻き込んで良かったと思う。人数が増えて取捨がつかなくなるようなことにはならないと思う。	基準 1 水準 0 合計 1	取り組みは悪くないが、性質上、非公開のものとなるため、通常の評価は難しい。その中でも、会議録の作成、会議参加者への会議録の送付を評価した。	基準 6 水準 10 合計 16	参加者が限られているが、自治会長の推薦があれば参加できるということであれば、事前に開催日時を公開することが必要ではないか。	基準 6 水準 10 合計 16	基準 6 水準 9 合計 14	地区別の防災マップづくり、担当者の努力は高く評価されるが、会議を非公開にする必要はないように思う。	基準 5 水準 9 合計 14	会議の非公開の意図には理由があるとは思いますが、伝わってない。公開にできない理由があれば明示すべき。	基準 4 水準 8 合計 12	審議会は設置されず自治会長、自治会防災担当、地区社協等で構成されているが実態は不明である。メンバー及び会議は公開が原則であり一般市民を傍聴させない理由は？ 色々条件を付けて公開している、とあるがもっと単純に一般公開では駄目なのか？	基準 6 水準 11 合計 17	「2」「3」団体のみの限定的で、一般市民にも公開する必要があるのではないか。「4」意見の概要等を公表しても良いのではないか。	基準 4 水準 8 合計 12	4.7 水準 8.8 合計 13.5			

事業名 :3. ごみの減量化・資源課推進事業

委員氏名		総合評価点		30点		35点		37点		39点		40点		27点		31点		30点		36点		36点		平均			
評価			生産者および販売ルート(スーパーなど)での過剰包装などで、大量のごみが発生するのでは、これを規制する方法は検討されるのでしょうか?ターゲットが市民生活者を規制するならば、たかが知れていると思う。		市民にもっと、生活する上で大事であることを、アピールする必要があると思われる。		中間評価のため、以下のような評価となった。しかし、男女共同参画およびコンプライアンスの観点からも当該事業は適切に行われており、今後期待したい。		パブリックコメントは、1か月間の予定であり、市民の意見を反映しようとする姿勢がうかがえる。会議の出席率が良くないので、日程調整が必要である。女性の公募があるように、市民への働きかけが必要である。		第1回会議の出席率(公募委員は4名出席)他の委員の方の出席に疑問有り		パブリックコメントは予定、会議もまだ2回と事業継続中でもあるが、市民参加が少ないように思う。公募委員応募者と決定者が同じなのは、公募委員募集の方法に問題があるのではないかと思う。事業内容的には、女性の方が具体的な意見が出やすいと思う。		ゴミの問題は、底の地区で起こっている。今一度、見直しの必要性がある。また公募の方法の検討も必要か。		当事業は始まったばかりで、審議会の設置と行動計画について会議しただけで、今後の活動に期待する。		1. 継続事業で、今後パブリックコメントも26年度中に予定されているが、市民生活と密接に関連し、市民の理解と協力なしには進展しない事業であるため、説明会その他、より周知を図る努力があっているのでは。 2. 課のホームページからは、検索しづらいため、検索しやすくすべき。これは、庁内全体で改善すべきである。 3. 審議会議事録がホームページに掲載されているが、肝心の配布資料が見当たらず不十分。「子ども子育て事業」や「庁舎」では、資料も掲載している。 4. 全体として、審議会の出席率が低く、公募委員は全員参加だが、その他委員は第1回が半数、第2回も3分の2以下であり、委員選任等に問題はないか。		ゴミの減量・資源化をさらに推進するために、廃棄物処理の基本方針の見直しは、市民にとって身近で喫緊の課題である。今後とも、市民の意見等を積極的に組み入れることを検討する必要があるのではないか。			34.1			
	評価項目	配点	実施状況	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント				
	実施した市民参加の数	15	H25.11~H27.11 廃棄物減量等推進審議会 H26.9 パブリックコメント実施予定	5		5		5		5		5		5		5		5		5		5		5		5.0	
	選択した市民参加の手法	5		5		3		3		3		5		5		2		2		2		4		3		3.4	
	意見の取り扱い・公開方法	5				5		5		5		5		5		2		2		2		5		5		4.0	
市民参加の取り組み・積極性	5				3		5		5		5		5		2		2		2		3		4		3.4		
審議会の設置	基準	H25.2.15~2.28 公募委員募集(14日間) 広報しろい(H25.2.15)、市HP、各センター 情報公開コーナー、担当課窓口で周知	基準	応募者が少ない。市民に関心を持たれていない。	基準	適切である。男女共同参画の観点からも評価できる。出席率が8割を下回っているため、日程調整にもう少しご尽力いただきたい。	基準	市民募集の「周知方法」と会議開催日の公開の「周知方法」が対応していない。市民募集で選ばれなかった方が公開される会議に参加できるよう、会議開催日の公開の「周知方法」は同じである方が望ましい。	基準	2回の会議の出席率が良くない。応募者と決定者が同じ。応募する人が少なかったのはなぜなのか。	基準	会議の開催、出席率が奮わない様子。いまいちど会議開催の意図を明確にすべきでは。	基準	第1回、2回の会議とも公募委員以外の委員の出席率が良くない。委員の選任に問題はないか。	基準	会議2回だけだが、公募委員以外の出席率が悪い。中でも一度も出席していない委員が2名おり、選任に問題はないか。	基準	「3」委員参加、傍聴者が限定されるのではないか。	基準		基準		基準		基準		基準
	10	1.委員12名中4名市民公募委員(男3/女1) 2.応募者4名(男3/女1)を審査、4名選定	10		10		10		10		10		10		10		10		10		10		10		10.0		
	水準	3.会議は2回開催(平日日中)、全て公開 4.会議は市HP、情報公開コーナーで事前周知 5.会議録は逐語録を市HP、情報公開コーナーで公開	水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準
	10		10		9		9		9		6		9		10		9		9		9		9		9.0		
	合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計
20		20		19		19		19		20		16		20		19		19		19		19		19		19.0	

事業名 : 4. 第6期白井市高齢者福祉計画・白井市介護保険事業計画策定事業

委員氏名		総合評価点		◎ 108点		◎ 102点		◎ 89点		◎ 99点		◎ 86点		◎ 87点		◎ 104点		◎ 101点		◎ 94点		◎ 94点		平均			
評価				配点をすべて加えると110点になるが、配点どおり計算する。 高齢者が増加する中、関心の高いテーマであり、市民、行政、事業者との関係性も深いものがあると思う。介護保険の健全な発展を期待したい。		積極的に市民サービス向上のために努めていると思われる。		高齢社会となっている今日、重要な事業である。高齢者福祉計画、介護保険事業計画を策定する際の市民参加の手法とは何かを考えると、現在のサービス対象者(受給者)、すなわち顧客のみならず、それを支える力であり、将来の対象者である現役世代にも配慮される必要がある。対象者になる前から、このような事業に触れることは、予防の意識を生み、本市全体の福利につながるからである。遠視眼的には、本市のためになるので、当該事業の市民参加でできることをぜひ考えてもらいたい。		当該事業サービス主体ではなく、市民も含めたものであることを踏まえ、事業計画政策に關係する市民の理解も含めた、意見交換会等が必要ではないか。		その他の市民参加に於いて、事前周知法、及び、公開について、次回会議にてお伺いをさせていただきます。		事業継続中にもかかわらず、アンケート、意見交換会等市民の意見を積極的に取り入れようとする姿勢は大変望ましい。公募委員に女性が多いのは事業内容的に評価できる。アンケート調査の40歳～64歳の回収率が若干低い、全体的に有効だったと思う。意見交換会を夜間に開催するなど市民参加に積極的に、結果の公表予定に期待したい。		高齢化社会が進むわが国に於いて大きな重要課題である。少しずつではあるが、努力が見られることは評価できる。今後も期待している。		高齢者福祉問題は国としても重要課題の一つである。市の担当課及び審議会はとも意欲的、積極的に取り組んでいる様子が窺える。中間評価で幾分のマイナス評価はあるものの、申し分ない。是非内容でも良い結果を出して頂きたい。		1. 審議会の会議録や議題に関する配布資料は、ホームページにも欲しい(共通の問題) 2. 審議会の時間は、いたずらに長くする必要はないが、審議会を形式的なものにせず、もっと充実した議論ができるようにする必要はないのだろうか。 3. アンケートや意見交換会などの記録は、情報公開コーナーにも欲しい。		介護保険事業の円滑な実施は、今後とも重要な課題である。 第6期プランに当たっては、さらに、市民に対する情報の提供が必要ではないか。				96.4	
		評価項目	配点	実施状況	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント			
		実施した市民参加の数	15	H24.12～H27.12 白井市介護保険運営協議会 H26.2.5～2.24 アンケート調査の実施	15		15		15		15		15		15		15		15		15		15		15		15.0
		選択した市民参加の手法	5	H26.3 市内事業者を対象としたアンケート調査を実施	5		5		4		5		5		5		5		5		5		5		5		4.9
		意見の取り扱い・公開方法	5	H26.3 介護保険事業者を対象に意見交換会を実施	5		3		3		5		5		5		3		2		5		4		5		4.0
市民参加の取り組み・積極性	5		5		5		4		4		5		5		3		5		5		4		5		4.5		
審議会の設置	基準	H24.10.1～10.31 公募委員募集(31日間) 広報しろい(H24.10.1)、市HP、各センター情報公開コーナー、担当課窓口で周知	基準	女性3:男性2のバランスは良い。	基準	桜台地区からも応募があったので、選定されると良かった。	基準	適切に行われている。	基準	「結果公表・取扱い」が「情報コーナー」のみであるため、「ホームページ」等の掲載もある方がよい。	基準		基準	公募委員に女性が多いのは、事業内容的に良いと思う。	基準		基準	申し分ない。	基準	会議録はホームページにも欲しい。	基準	「1」「2」割合を考慮する必要があるのではないか。「3」委員、傍聴者が限定されるのではないか。	基準		基準		
	10	1.委員15名の内5名市民公募委員(男2/女3) 2.応募者10名(男6/女4)から5名選定	10		10		10		10		10		10		10		10		10		10		10		10.0		
	水準	選定基準は公開	水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		
	10	3.会議は5回開催(平日日中)、第1回以外公開 ※第1回は、事業者選定審査のため非公開 4.会議は広報しろい、市HP、情報公開コーナーで事前周知 5.会議録は要点録を情報公開コーナーで公開	10		10		9		10		10		10		10		10		10		8		6		9.3		
	合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		
20		20		20		19		20		20		20		20		20		18		16		19.3		19.3			
アンケート調査実施	基準	H26.2.5～2.24 アンケート調査実施(20日間) 1.広報しろい(H26.01.15)で周知	基準	回収率が高い。結果公表と取扱いは10月で評価未。	基準	「1」ホームページにも掲載するべき	基準	適切に行われている。方法も妥当であるが、結果の公表はまだ行われていないため、趣旨のみを評価した。	基準	「事前周知の方法」については、「広報しろい」のみでなく、「ホームページ」等の掲載も、市民の目の届くところ複数に周知する方がよい。	基準		基準	40～64歳の回収率が若干すくない。アンケート公表に期待	基準		基準	結果公表が評価時点では未実施なので-2であるが、他は申し分ない。	基準	公表がまだで判断できない部分も。情報公開コーナーにも欲しい。	基準	「1」複数の選択が必要ではないか。	基準		基準		
	10	2.個別郵送で調査 3.市内全域を対象に下記のとおり実施 ①市内の40～64歳から2,000人を無作為抽出 ②市内の65歳以上及び要介護2以下全てを対象	10		10		9		10		10		10		10		10		10		10		10		9.9		
	水準	③要介護3以上全てを対象	水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		
	10	4.計15,115件、10,201件回収(回収率67.5%) 5.H26.10.15 アンケート結果を広報及び市HPで公表予定	9		7		9		9		10		8		10		10		9		9		9		8.8		
	合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		
20		19		17		18		19		20		18		20		18		19		19		19		18.7			
意見交換会の開催	基準	H26.3.19・20・26 意見交換会を開催(3回) 計42名参加	基準	結果公表・取扱いは10月で評価未。	基準	大事なことだと思ふ。	基準	当該交換会は、顧客(サービス受給者)の意見収集であり、本来の意味での開放型の市民参加とは異なる。しかし、この交換会を市民参加に高めるためには、意見に対する市側の意見表明がポイントとなる。この点に配慮してほしい。	基準	「結果公表・取扱い」については、「情報コーナー」にあるほうがよい。	基準		基準	結果公表を期待	基準		基準	結果公表が評価時点で未実施の為-2の他は申し分なし。	基準	情報公開コーナーにも欲しい。	基準		基準		基準		
	10	平日夜間に市役所で開催、非公開で実施 ※介護サービス事業者の業務遂行上の問題点等の把握や事業者相互の情報交換の場として設定したため	10		10		9		8		6		6		10		9		10		8		8		8.6		
	水準	2.参加者へは資料を配布	水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		
	10	3.市内で介護保険サービス等を提供する32事業所及び社会福祉協議会、地域包括支援センター等を対象 4.対象事業所・対象団体等へ直接周知 5.会議録は要点録で作成、広報しろい(H26.10.15)、市HPで公開予定	9		10		7		8		10		13		10		8		7		7		7		8.9		
	合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		
20		19		20		16		16		16		19		20		18		16		15		15		17.5			
その他の方法	基準	H26.3.10～3.17 アンケート調査実施(8日間) 居宅介護サービスを実施する32事業所、社会福祉協議会、地域包括支援センター対象	基準		基準		基準	意見交換会同様、当該調査もまた市民参加の手法というよりも、顧客(サービス対象者)調査である。それを開かれた市民参加へと転換するためには、上記同様の視点が求められよう。	基準	「公開」(アンケート結果)は、「情報コーナー」も含めた方がよい。	基準		基準	公表予定に期待	基準		基準	結果公表が評価時点で未実施の為-2の他は申し分なし。	基準	事業者対象で35事業所対象と少ないのに、回答率が低いのはなぜ。	基準		基準		基準		
	6	2.対象者に直接周知 FAX、メールで集計、21事業所34名が回答	6		4		4		6				6		6		3		5		5		5.0				
	水準	3.H26.3月「第6期白井市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に係る基礎調査結果報告書」をまとめ、公表	水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		
	14	4.H26.10.15に広報しろい、市HPで公表予定	14		13		4		11				12		12		8		11		11		11		10.6		
	合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		
20		20		17		8		17		0		0		18		11		16		16		16		12.5			

事業名 :5. 子ども子育て支援事業計画策定事業

委員氏名		総合評価点		61点		64点		53点		57点		62点		64点		58点		46点		58点		56点		平均				
評価		支援事業として計画策定事業の積極性に疑問。男女比、地域割合、事前周知に問題あり。						当該事業においては、子ども子育て関連法の改正などで、ご多忙なことは理解している。だが、本市のこれからを担う世代を対象にしているため、市民参加で地域を運営するためには、重要な事業の1つであろう。子育て世代は、ICT(情報通信技術)にも比較的通じていることから、HPを中心に、さまざまな媒体での情報公開などを充実させ、彼らに参加および参画の意識を啓発してほしい。		委員18名のうち公益団体の代表者が13名と非常に多く、その反面公募委員が3名、学識経験者が1名とバランスがあまり良くない。市民参加の視点からも、委員の構成の見直しが必要である。子ども・子育て新システム関連3法の理解と今後の子育てサービスのために、利用する市民、団体、両者の意見と理解が必要である。		審議委員会の公募委員の人数が少なく感じました。また、選任委員の地域に疑問。		事業継続中だが、アンケートなどを実施し若い世代の声をくみ上げようとする意欲を感じる。公募3名のうち女性2名男性1名で、50歳までの公募委員なので、若い世代の意見が期待できそう。アンケートを幼稚園、保育園、小学校の保護者にも園や学校を通じて協力してもらえばもっと多くの意見を集約することができるように思う。		審議委員の数をもう少し増やしてもいいのかも。アンケートの製作には、もう少し時間をかけてもいいのでは。		審議会委員の公募枠と採用地域のバランスが悪いのでは。①審議会の公募枠3人は少なすぎる。評価基準によれば市民感覚を大切にする審議会の場合は市民参加50%が望ましいとあるので、30%~50%(5名~9名)が適当ではないか。②広報しろい(2013.11.1)に、地域のニーズを踏まえ保育園の受け入れ人数を増やすなど…、地域における子育て支援に関する様々なニーズにこたえ…等、地域を強調しているが桜台地区からの応募者を不採用としたのは何故か。		1. ホームページには、ほとんどの資料が掲載されている(審議会での配布資料を含む) 2. その他の手法で、ヒアリング等も実施している		次世代育成支援の次期行動計画の策定のための重要な機会である。今後さらに、積極的に、対象となる市民の参加を推進する必要がある。						57.9
	評価項目	配点	実施状況		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント				
	実施した市民参加の数	15	H25.10~H28.10 子ども子育て会議 H26.11 パブリックコメント実施予定		10	会議3回とも出席者14名と同じ。委員の都合で決められたわけでもなく時間帯が平日日中だと委員や傍聴者参加に影響があるのでは	10		10	継続中の事業のため、左のような結果になった。今後の進展を期待したい。	10		10		10	パブリックコメントがまだ実施されていないが若い世代からの意見をたくさん期待したい。	10		10	一般公募枠の人数が少なく、採用地域に偏りがある。	10		10		10.0			
	選択した市民参加の手法	5			5		5		5		5		5		5		5		5		5		5		4.4			
	意見の取り扱い・公開方法	5			5		4		3		4		5		5		4		4		4		4		4.2			
市民参加の取り組み・積極性	5			3		5		4		4		5		5		3		3		4		4		4.0				
審議会の設置	基準	H24.12.1~12.25 公募委員募集(25日間) 広報しろい(H24.12.1)、市HP、各センター情報公開コーナー、担当課窓口で周知 1.委員18名中3名市民公募委員(男1/女2) 2.応募者6名(男1/女5)から3名選定 選定基準は公表 3.会議は3回開催(平日日中) 全て公開で開催 4.会議は情報公開コーナーで事前周知 5.議事録は要点録を情報公開コーナー、市HPで公開		基準		基準	子育て世代が選出されているので良い。	基準	公募委員数については、市民参加の観点から少ない。しかし、当該事業の性質上、妥当な数であれば、その点についての記述がほしい。また、会議の時間帯などについても、その決定要因が「特になし」で、異なる時間に開催されていることは問題がある。	基準	委員の中に「公益団体代表者」が多く、学識が1名と少ない。委員の構成を考える必要がある。「結果公表・取扱い」については「ホームページ」のみで、「情報公開コーナー」にない。公開場所を増やすべきではないか。	基準		基準	公募3名の内女性2名男性1名で、50歳までの公募委員は素晴らしい。	基準		基準	子育て支援事業は市民の関心が高い事業である。公募枠を30~50%(5~9人)に増員すべきであろう。また、地域的にも全市を網羅すべきであろう。	基準	公募委員地区配分に疑問。3区から2名ずつの応募に、桜台を外し、南山を2名に。公益団体の委員13は多すぎでは。未確定資料は傍聴者に資料配布しない理由になるか。	基準	「1」「2」割合が不適切ではないか。「3」委員、傍聴者が限定的ではないか。「4」複数の選択が必要ではないか。	基準		9.5		
	水準			水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準				
	10			8		10		6		7		8		10		6		2		7		6		7.0				
	合計			合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計				
	20			18		20		13		17		18		20		16		11		16		16		16.5				
アンケート調査実施	基準	H25.11.7~11.25(19日間) アンケート調査実施 1.広報しろい(H25.11.1)、市HPで周知 2.市全域を対象に無作為で3,000人を抽出 ①小学校就学前児童の保護者 2,000人 ②小学校児童の保護者 1,000人 3.計3,000件 1,746件回収(回収率58.2%) 4.市HPで白井市子ども子育て支援に係るアンケート 5.H26.6.15 広報しろいで公表 市HPで公表		基準		基準	「4」アンケート結果は、対象者の目に届く幼稚園・保育園・小学校PTAにも公表されると良いと思う。	基準	結果の公表については、HPだけでなく、情報公開コーナーや窓口でも見られるようにしてほしい。	基準	「結果公表・取扱い」については、「ホームページ」のみで、「情報公開コーナー」にない。公開場所を増やすべきではないか。	基準		基準	アンケート調査は市民の声を聞くのに有効な手段だと思う。アンケートを幼稚園、保育園、小学校を通じて保護者に協力してもらうのも、より多くの声を拾える可能性があると思う。	基準		基準	結果公表の手段、方法は、さらにいづつ公開するのにか。	基準	結果公表はいつごろなのか。	基準	情報公開コーナーにも欲しい。	基準	「3」対象の範囲を拡大する必要があるのではないか。	基準		
	水準			水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準				
	10			10		10		9		10		10		10		10		10		8		10		10				
	合計			合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計				
	20			20		20		18		19		19		20		20		16		19		18		18.8				

事業名 : 6. 市役所庁舎整備事業

委員氏名		総合評価点		◎ 87点		◎ 88点		◎ 90点		◎ 89点		◎ 88点		◎ 89点		◎ 89点		◎ 79点		◎ 89点		◎ 85点		平均				
評価		莫大な予算を伴う事業であるので、市民に十分な説明責任が伴うと思う。情報公開はたくさんあってもよいのでは？				所管である管財契約課の配慮により、市民参加により、当該事業が適切に行われていることがうかがえる。今後も、こういった取り組みを続けてほしい。		市役所庁舎整備事業は、審議会設置、パブリックコメント、意見交換等、市民参加が行われており、審議会の出席率も高く、傍聴者もおり、市民の関心事であることがうかがえる。「公募委員」の男女比に差があること以外には、特に問題はない。		市役所庁舎整備事業は未来の白井市の基盤を作る重要な事業だと思う。それ故に、パブリックコメントも他の事業に比べ、多く集まったと感じた。審議会の出席率も、毎回80パーセント以上、平均で92.2パーセント。長い事業になるが、わが街白井市の未来へ向かう皆さんの積極的な討議を願う。		事業継続中だが、市役所庁舎整備事業に対する市民の関心が高いので、今後の市民参加の取り組みに期待したい。審議会の出席率もよく、また傍聴者もいて市民参加としては望ましい。意見交換会を土曜日に行うなど市民の意見を広く拾い上げようとする努力も評価したい。今後の開催も期待したい。		審議会出席は問題ないように感じる。市民参加としては望ましいのではないかと。		市庁舎整備事業は白井市にとって重要案件の一つである。耐震安全性は当然な事として、高齢者や障害者が利用し易い動線を考慮した設計を望みます。全体としては積極的に取り組んでいる事が窺える。		1. この事業は、これまでの経過、審議会での丁寧な審議、その中における公募等の市民の積極的な役割の発揮、公開資料等の充実等々を総合的に評価して、白井市政の歴史だけでなく、全国的にも高く評価される審査及び策定計画になっていると思う。(満点以上の120点、個人的には200点をあげても良いと思われる)		市役所庁舎の整備に当たっては、機能性・経済性を十分に考慮する必要がある。また、専門性も求められる中で、常に市民の参加と市民に対する積極的な情報提供が必要である。								87.3
評価項目	配点	実施状況		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント					
実施した市民参加の数	15			15		15		15		15		15		15		15		15		15		15		15.0				
選択した市民参加の手法	5			5		5		5		5		5		5		5		5		5		5		5.0				
意見の取り扱い・公開方法	5			5		5		5		5		5		5		5		5		5		5		5.0				
市民参加の取り組み・積極性	5			5		5		5		5		5		5		5		5		5		3		4.8				
審議会の設置	基準	H25.2.18～3.1 公募委員を募集(12日間) 広報しろい(H25.2.1)、市HP、各センター、情報公開コーナー、担当課窓口で周知		基準	男女比を男性3:女性2にしようとしたのは？ 会議の出席率が高い。	基準		基準	適切に行われている。公募委員は5名だが、学識経験者および公益的団体代表を含めると、行政職員等に対する割合が高く、開かれた市であるといえる。市庁舎整備事業のため、行政職員がもう少し加わってもよいように思う。	基準	「公募委員」の男女比が応募者男女比10:2に対し、決定者は4:1である。異なる地域から女性が2人応募しているの で、女性を2名にすべきではなかったか。	基準		基準	会議は11回、出席率も良く、傍聴者もいて良好。	基準		基準	審議会は月1回ペースで開催され積極性が窺える。市民参加比率が25%と評価基準30%を下回っているため-1とした。	基準	会議の回数、審議時間が多く、充実した審議が続けられている(1時30分～6時過ぎまでなど)会議の全資料がホームページと情報公開コーナーにあり、委員や市民の意見等も非常に丁寧な扱いがなされている。	基準	「1」公募の割合が低いのではないかと。「3」委員、傍聴者が限定されるのではないかと。	基準		基準		
	水準	1.委員20名中5名市民公募委員(男4/女1) 2.応募者12名(男10/女2)から5名選定 選定基準は公表 3.会議は11回開催(平日日中) 第2.3回以外公開 ※2.3回は業者選定に係る内容のため会議は非公開。ただし、会議録は市HP、情報公開コーナーで公開		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準				
	10	4.市HP、情報公開コーナーで事前周知 5.会議録は逐語録を情報公開コーナー、市HPで公開		9		10		9		8		10		9		10		9		10		8		9.2				
	合計			合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計				
20			19		20		19		18		20		19		19		20		18		20		19.2					
パブリックコメント(意見公募)募集	基準	1.H26.1.28～2.21 パブリックコメント(意見公募)25日間実施 2.素案、概要、目的・案内、意見書を提供 3.市HP、各センターで資料提供 メール、各センター回収箱、庁舎1・3階回収箱で受付		基準	公表は広報に出すべき。パソコンを使えない方に配慮を。ホームページ、情報公開コーナーでは不十分。	基準	応募方法については、市民の便宜を図ったと思われるが、いつもの方法(郵送・FAX・担当窓口)もあつた方がより良かった。他より広域にした分、結果公表も各センターまでは情報公開したほうがよかった。	基準	適切である。	基準		基準		基準	44人から52件の意見が寄せられ、この事業に対する市民の関心の高さが分かる。	基準		基準	第1回パブコメは申し分ない。市民の関心は高く意見を出す人数、項目も多かった。第2回目を26年10月に予定しているとの事で中間評価としては点数は1/2と評価した。	基準	意見数も多中で、丁寧な取扱いや回答がなされている。パブリックコメント後の市民等の意見にもきちんと対応している。	基準		基準				
	水準	4.H26.2.1 広報しろい、市HP、各センター、福祉センター、情報公開コーナー、図書館、担当課窓口で周知		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準				
	10	5.44人から52件の意見 H26.3.24 第13回会議で回答を公表 H26.5.1 提出された意見に対する市の考え方を公表 市HP、情報公開コーナー		9		10		10		10		10		10		10		10		10		10		9.3				
	合計			合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計				
20			19		19		20		20		20		20		20		10		20		20		18.8					
意見交換会の開催	基準	1.H26.2.8 意見交換会を開催(16名参加) 土曜日に市役所で開催 2.参加者へは資料を配布 3.参加者の制限はなし 4. 広報しろい(H26.2.1)、市HP、各センター、情報公開コーナー図書館、担当課窓口で周知		基準	意見交換会は1回きりだとすると不十分さを感じる。	基準	広報資料にはのっていないのでわからないが、パブリックコメントの数からいえば、市民の関心は高いので、1ヶ所だけでなく2ヶ所以上ですと良かったのではないかと。	基準	適切である。交換会の日時を平日以外に設定し、広く市民に参加を呼びかける姿勢は評価できる。	基準		基準		基準	意見交換会を1回で終わりにして欲しくない。これからの開催に期待したい。	基準		基準	積極的な意見効果がのぞまれる。これからの期待するとともに、市民活動の原点として位置付けることができればなおよいのではないかと。	基準	参加者の事情を考慮して土曜日に意見交換会を実施した事は評価できる。	基準		基準				
	水準	5.会議録は逐語録で作成、意見に対する市の回答あり H26.2.14 市HP、情報公開コーナーで公開		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準				
	10			9		10		10		10		10		9		10		10		10		9		9.5				
	合計			合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計				
20			19		19		20		20		20		19		20		20		19		19		19.5					